

さくら交通グループ労組

## 前向きで強い労働組合を目指し挑戦

### 全自交大阪地連と共に運動を進める

(鳥山委員長のあいさつ)

2014年11月24日 さくら交通グループが結成大会を開きました。

11月24日、大阪市北区のPLP会館で、さくらグループ労働組合の結成大会が開かれました。



全自交大阪地連加盟を前提とした新組織が立ち上がりました。

冒頭、結成の準備に奔走した鳥山栄一氏が「現在、さくらタクシーグループには4つの労働組合があるため、従業員同士の団結は出来ていない。14年前に上部団体を持つ労働組合ができたが、今では会社と協調路線を取る組合が過半数を超えている。

このことで労働条件の改善が進まず、運転者の生活は厳しい状況のままだ」「その状況を打開するために今回、全自交大阪地連と共に運動する組織を立ち上げることになった」と結成の趣旨を述べ、「働きやすい環境作りや給与体系の見直しなどの課題に前向きで強い労働組合を目指し、挑戦していきたい」と抱負を語りました。組合規約を決定した後、役員を選出し、執行委員長に就任した鳥山氏は、「組織拡大に努め、何れは労働組合を一つにまとめて労働条件改善と社会的地位向上に向け、全自交大阪地連と共に運動を進める」と挨拶しました。



結成大会には、全自交大阪地連の加藤委員長、権藤書記長が出席し、歓迎と連帯の挨拶を行いました。